

ハロートレーニングを上手に活用して

就職やスキルアップにつなげよう！

このページでは、ハロートレーニング（公共職業訓練、求職支援訓練）について、その内容や受講のメリット等をQ&A形式でご紹介します。ハロートレーニングの受講を検討している方はもちろん、ハロートレーニングについてご存知でない方も、ぜひお読みください。

Q1 ハロートレーニングって何？

A1 ハロートレーニング（公的職業訓練）とは、雇用保険（失業保険）を受給している求職者主な対象とする「**公共職業訓練**」と、雇用保険を受給できない求職者を主な対象とする「**求職者支援訓練**」の総称です。キャリアアップや希望する就職を実現するために、必要な職業スキルや知識を習得することができる公的な制度です。

Q2 どのような人が受講できるの？

A2 **働こうとする方、働く方すべてが対象**です。これから就職を目指す方であれば、失業中の方だけでなく、働きたいのにキャリアが少ない方等、状況は問いません。

ハローワークでは、ご本人のご希望を踏まえつつ、就職可能性を広げるためにどのような職業能力開発を図るべきかという観点で職業相談を行った上で、公的職業訓練への受講あっせんを行っています。

また、障害をお持ちの方、学卒者の方、スキルアップをめざす在職者の方向けの訓練も用意しています。

Q3 受講費用はどれくらいかかるの？

A3 公的な制度のため、受講料は基本的に**無料**です。

※1 一部テキスト代等は自己負担となります。

※2 在職者や学卒者の方を対象としたハロートレーニングは有料です。

Q4 訓練分野（コース）にはどのようなものがある？

A4 事務系をはじめとして、IT、建設・製造、サービス、介護、デザイン、理美容に至るまで**多種多様な訓練分野**を網羅しており、住宅リフォーム、OAシステム開発、Web設計、3DCAD等の昨今の**時代のニーズに即したコース**や第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、介護職員初任者研修等の**資格取得をめざすコース**もあります。

また、ハロートレーニングの訓練コースは下記のホームページより検索できます。

【ハローワーク インターネットサービス】 職業訓練検索

<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/kensaku/GECA150010.do?action=initDisp>

Q5 どこで受講できるの？

A5 公共職業訓練の場合は、国（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構のポリテクセンター、ポリテクカレッジおよび障害者職業能力開発校）、都道府県（職業能力開発校および障害者職業能力開発校）、民間教育訓練機関等（都道府県からの委託）が、求職者支援訓練の場合は、民間教育訓練機関等（訓練コースごとに厚生労働大臣が認定）が実施しています。

Q6 訓練期間はどのくらい？

A6 離職者向けの訓練は、基本的には2～6ヶ月となります。そのほか、1年間や2年間の訓練も用意しています。

在職者向けの訓練は、2～5日と短期間です。

また、学卒者向けの訓練は、1～2年間と長期間です。

Q7 どのくらいの人を受講しているの？

A7 年間約**27万人**の人が受講しており、離職者向けの訓練では受講者の**6割以上が女性**です。子育て中の方も安心して訓練を受講いただけるよう、託児サービス付きの訓

練も用意しています。

Q8 どれくらいの方が就職しているの？

A8 離職者向けの公共職業訓練では、**約8割の方が就職**しています。

Q9 離職者向けの訓練を受講するにはどうしたらいいの？

A9 訓練受講に関する手続きは基本的には**ハローワーク**で行います。まずは、最寄りのハローワークまでご相談ください。

Q10 訓練期間中の生活費はどうすればいい？

A10 雇用保険（失業保険）を受給できる方は、訓練受講中の手当を受給することができ、雇用保険を受給できない方には、一定の要件を満たせば、訓練受講中の生活費等が支給される制度があります。また、訓練施設に通うための交通費もあわせて支給される場合があります（上限あり）。詳しくはハローワークにご相談ください。

Q11 ハロートレーニングを受講して就職するメリットは？

A11 「やりたい仕事はあるが経験やスキルがない」「入社後すぐに役に立つ専門的・実践的なスキルを身につけたい」などという方には訓練の受講は非常に効果的です。また、訓練受講中でもハローワークや、訓練施設で就職相談を受けることもできます。「急

がば学べ」とのキャッチフレーズにもあるとおり、少し時間がかかっても訓練を受講してから就職するメリットは大いにあります。